

春季大会『国際企画セッション』を核とした英語論文集発行のための論文募集

2011年5月に千葉工業大学で開催されるNPO法人日本シミュレーション&ゲーミング学会(JASAG)春季全国大会誌において、国際企画セッションを開催することが決定しております。これに合わせて、本学会では、英語の論文集を発刊することを企画し、会員各位から投稿論文を募集することとしました。下記の募集要項に即して、多くの方にご投稿いただければ幸いです。なお、現時点では、発行は書籍の形を想定していますが、今後、予算等の関係で、学会誌別冊になるなど、変更が生じる可能性があることをご了解頂ければ幸いです。

英語論文集特別編集委員会

幹事 吉川肇子・松田稔樹・土谷茂久

委員 鐘ヶ江秀彦・加藤文俊・白鳥令

■テーマ： シミュレーション&ゲーミングの社会的貢献

－ 世界のさまざまなゲーミング文化において －

Social contribution of simulation & gaming in various gaming cultures of the world

■プロポーザル締切： 平成23年4月18日（必着）

■英語論文締切： 平成23年6月30日（必着、要ネイティブチェック）

■英語論文集発行： 平成23年3月末まで（できる限り1月末まで）

今回の国際企画セッションは、ISAGA (International Simulation and Gaming Association)がNPO法人化され、執行部メンバー (Board& Council members) が大幅に入れ替わったことを受け、それと連携して活動しているJASAGとして、新たな関係構築に向けた交流及び情報交換の機会を持つことを目的としています。この企画に対しては、科学技術融合振興財団より支援を得ており、成果を形として残すために、論文集を発行することにしました。

今回、ISAGA関係者として招聘するのは、以下の4名の方です。

ISAGA 会長

MSc. Pieter van der Hijden (Sofos Consultancy, President)

ISAGA 前会長

Dr. Vincent Peters (Samenspraak Advies, President)

ISAGA Executive Board member

Dr. Willy Kriz (University of Applied Sciences Vorarlberg, Professor)

Dr. Markus Ulrich (UCS Ulrich Creative Simulations GmbH, President)

当初計画では、これらの方に表題のテーマで論文を執筆して頂くほか、当該セッション

で JASAG を代表して登壇予定の吉川・加藤・鐘ヶ江の 3 名、及び、本企画と密接に関連した 2010 年度秋季大会の「S & G 研究における倫理的課題」の企画者等を中心に論文を執筆することを想定していました。しかし、本企画の趣旨に照らし、より多くの会員が本企画に参加頂けることが大事であるとの認識に至り、この度、編集委員会を構成し、会員からの論文投稿を募集することにした次第です（今後、委員の追加の可能性があります）。

論文の内容は、表題のテーマに即したものであることが条件になりますが、特に、今回は、S&G の社会貢献（ここには上述の大会企画である「倫理的側面」についての議論も含みます）に関して、日本から世界に向けて英語論文の形で情報発信することを目的としている点にご留意頂ければと思います。すなわち、具体的な実践や事例等に即しつつ、世界的視野の中で、その研究の意義・位置づけや社会的貢献について論じられるようお願いする次第です。

なお、ご存じの通り、学会誌では、「S&G と倫理」の連載特集を行っており、さらにフォーラムでは「私と S&G」の執筆を依頼しております。今回投稿して頂いた論文の全てを英語論文集に掲載することはできない可能性があります、本委員会と学会誌編集委員会とが連携する形で、それら学会誌への原稿執筆をお願いさせて頂く場合がありますので、ご理解とご協力をお願いする次第です。

■ 投稿要領：

プロポーザル： 第一段階として、プロポーザル（A4 で 1 枚以内、日本語で可）の提出を求める。プロポーザルの提出が無かったものを後から採録することはない。なお、プロポーザルの投稿資格は、締切日である 4 月 18 日時点で学会員であることとする。なお、プロポーザルの段階で第一段階の審査を行い、フォーラムへの執筆を依頼する場合は、日本語での原稿提出を依頼することとする。

論文： 学会誌の投稿規程・執筆要項に準ずる。英文の投稿規定は、英文誌 *Simulation & Gaming: An International Journal* に準ずるとされているので、<http://www.unice.fr/sg/>を参照の上、投稿して頂きたい。可能な限り、春季大会の国際企画セッションに参加され、そこでの議論もふまえて執筆されることを推奨する。なお、図版を含め、投稿する原稿の一切について、著作権処理が行われていること、図版はそのまま印刷に使用可能な鮮明なものを提出すること、英文についてはネイティブチェックを受けていること、MSWord の文書ファイルで提出することを条件とする。本編集委員会において、英文論文集掲載、学会誌招待論文依頼、不掲載（または改めてフォーラムへの執筆を依頼）のいずれかとして判定する。掲載決定になった場合でも、最終原稿の締切に間に合わなかったものは不掲載とする。

■ プロポーザル投稿&問合せ先：

jasag-proposal@et.hum.titech.ac.jp （3 名の編集幹事宛に届きます）